

あけぼの診療所だより



町の頼れる人を知る・自分になる

— 地域連携として相談に乗る姿勢 —

地域連携に強い在宅医療のパートナー

先月9月15日は敬老の日。65歳以上の高齢者は過去最高の**3,619万人**となりました。

世界的な高齢化を前に、病気であっても自分らしく生きられるよう施策が進められています。

あけぼの診療所は、ケアマネジャー・訪問看護師・病院の連携室など地域の皆さまと協力し、患者さんが安心して自宅で暮らせるよう支援しています。定期訪問だけでなく、急変時の対応や専門医との連携体制も整えており、“相談できる先がある”という安心感を地域に届けています。紹介や連携の際には、担当スタッフが迅速に対応し、現場の負担を減らすことを重視しています。選択が難しい患者さんや、心変わりするご家族に寄り添う上で、相談員には何が重要か、**地域連携部門の高橋**に伺いました。



ネガティブケイパビリティ

～正解のない状況の意思決定～

在宅医療では“どうするのが正解か”がすぐに決められない場面も多くあります。当院では答えを急がず、相談者と一緒に考えながら進める姿勢を大切にしています。

これは心理学者シャインの『プロセスコンサルテーション』の考え方に近く、寄り添い、結論が出なくても、そのプロセスを共に歩いていくことを重視しています。小学生に伝えるなら『わからないときも、一緒に考えてくれる先生』というイメージです。

当院の地域連携チームは、現場の医師・看護師・診療パートナーと密に連携し、迅速な対応を実現しています。入退院調整や紹介時の相談はもちろん、急な病状変化にも関係者と即座に情報を共有し、最適なサポート体制を整えます。地域全体のネットワークを活かして動くことで、患者さんとご家族に“安心できる在宅医療”を届けることを使命としています。



地域連携担当 高橋友紀

保健師・産業カウンセラーとして地域や家族の相談に対応してきました。現在は“紹介・相談窓口”として、ケアマネジャー・訪問看護師・医療機関と連携し、地域の患者さんを支えています。学び続ける姿勢を大切に、日々の業務に取り組んでいます。

高橋) 地域の方々へ恩返しと思い公益財団から現職へ。
市民後見養成講座 17 回生受講後、後見人活動もスタート。
身体の不調により不安を抱える人の気持ちに寄り添うために、キャリアカウンセリング、死生観、ウエルビーイング、対話についても学んでいます。



● 講習マニアの私が現在受けている講習

上廣死生学講座

<https://www.l.u-tokyo.ac.jp/dls/>



地域後見推進プロジェクト

<https://kouken-pj.org/course/>



公式LINE (地域連携者専用)

公式LINEから下記のような機能やサービスが利用できます。



紹介フォーム入力

紹介状アップロード

進捗確認可能



定期的に医師がお伺いする総合在宅医療サービス

あけぼの診療所

患者様がご自宅で“自分らしく”療養できる環境を実現できるよう、医療のみならず生活面の課題やご家族の不安にも向き合い、総合的なサポートを行います。

院長 / 下山 祐人

- | | | | | |
|-------|--------|-------|-------|-------|
| 内科 | 循環器内科 | 脳神経内科 | 消化器内科 | 呼吸器内科 |
| 泌尿器内科 | 泌尿器内科 | 泌尿器内科 | 脳神経外科 | 消化器外科 |
| 形成外科 | 心臓血管外科 | 皮膚科 | 精神科 | |

対応する診療内容 PEG 交換 / 在宅酸素 / 輸血 (赤血球・血小板) / 抗がん剤点滴 / 中心静脈栄養 (IVH) / 疼痛コントロール / 終末期ケア

ご相談・ご紹介はまずは
本院までご連絡ください

お問い合わせ・受付時間
(月～土 9:00～18:00)

TEL. 03-6457-7237

FAX. 03-6457-7238

〒160-0007 東京都新宿区荒木町 13 番地 4 住友不動産四谷ビル 5 階



あけぼの診療所 あさくさ院

〒111-0033 台東区花川戸 1-10-14CREAL 浅草スカイビュースクエア 2 階

TEL. 03-5830-6206 FAX. 03-6457-7238

訪問エリア

■ 即日対応エリア

■ 応相談エリア



● 詳細はこちらの QR からご確認いただけます。



事業拡大につき / スタッフ募集中!
お気軽にご相談ください

あけぼの診療所 新宿
www.akebonoclinic.net

検索